

# 平成30年度 第5回南区区民会議

日 時 平成31年1月15日(火) 17:00～

会 場 南区役所 1F 多目的室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

(1) 第5回 南区区民会議の進め方について

(2) 第4回 南区区民会議グループ協議②の整理

(3) グループ協議③

・ 交流の場ごとの主体別取組みを検討する。

(4) グループ協議③ 協議結果の発表

(5) 平成30年度協議結果取りまとめ 今後のスケジュール等について

### 3 諸連絡

### 4 閉 会

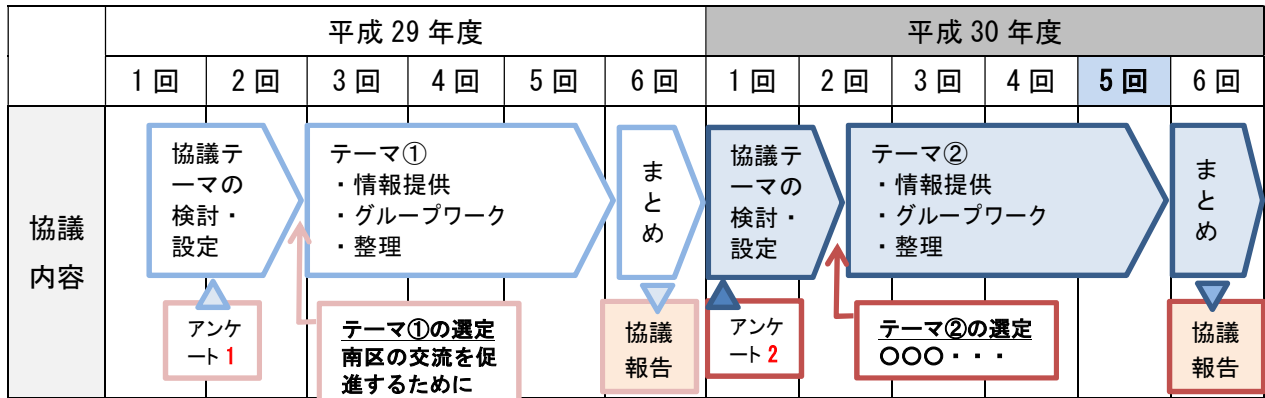
次回会議:平成31年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 予定

### 第5回南区区民会議の進め方（案）

#### 1. 平成30年度会議日程と第5回協議内容

平成30年度南区区民会議は、第2回会議で協議テーマの検討・設定（1テーマ）し、そのテーマに関する協議を2～3回重ね、第5回会議でとりまとめを行い、第6回会議で、区長へ提出する予定です。

#### (1) 第8期区民会議の協議計画（第1回会議資料一部修正）



#### (2) 平成30年度／第4回協議結果→第5回会議の協議内容（案）

| 定例会       | 開催日    | 内 容（結果及び予定）   |
|-----------|--------|---|
| 前回<br>第4回 | 11月21日 | (1) 前回のグループ協議①の振り返りと今回の協議課題について<br>(2) 第4回会議の進め方（案）について<br><協議結果><br>(1) 前回のグループ協議①の振り返りと今回の協議課題について<br>～前回のグループ協議①の協議内容の整理と第4回会議の協議課題案について確認しました。<br>(2) 協議テーマに関するグループ協議②<br>～グループ毎に設定した課題に対する方策について協議し、協議結果についてグループ毎に発表しました。              |
| 今回<br>第5回 | 1月15日  | (1) 前回のグループ協議②の振り返りと今回の協議課題について<br>(2) 第5回会議の進め方（案）について<br><協議予定><br>(1) 前回のグループ協議②の振り返りと今回の協議課題について<br>～前回のグループ協議②の協議内容の整理と第5回会議の協議課題案について確認します。<br>(2) 協議テーマに関するグループ協議③<br>～グループ毎に設定した課題・方策について追加協議し、主体別の取組みについて意見交換、協議結果についてグループ毎に発表します。 |

## 2. 第3回会議の協議検討内容

## (1) 協議テーマの検討方法（案）（第3回会議資料）

## 【平成30年度協議テーマ】



## 「多様な世代・組織がつながる交流の場づくりのために」

## 【交流の場のイメージに関する意見】

- 高齢者の社会参加を促す交流の場、健康づくりを推進する交流の場  
環境・美化を推進する交流の場など →① 課題解決型の交流の場
- 既存イベントを活かした交流の場、南区イメージ発信型イベント創設  
公共空間を活かしたイベントの創設など→② イベント型の交流の場
- 南区限定のオンラインサークル、各種サークル活動などの交流の場  
既存交流サロンを活かした交流の場など→③ 定期・常設型の交流の場

## 【検討の進め方】

← 委員意見等に基づく  
グループ編成

「多様な世代・組織がつながる交流の場づくりのために」というテーマで、タイプ別の交流の場の現況や区の制度などを踏まえ、具体的にどのような交流の場をつくるか、からグループ協議を進める

## 【協議の流れ】（第2回会議資料）

第3回

- ・タイプ別の交流の場の現況や区の制度などの情報確認
- ・グループ協議①～多様な世代・組織がつながる交流の場をつくる
- ・協議結果発表

第4回

- ・前回会議のタイプ別の交流の場の現状・課題のまとめ
- ・グループ協議②～多様な世代・組織が集まる仕掛けをつくる（課題解決）
- ・協議結果発表

第5回

- ・前回会議の多様な世代・組織が集まる仕掛けづくりのまとめ
- ・グループ協議③～多様な世代・組織が参加する仕組みをつくる（役割分担）
- ・協議結果発表

第6回

- ・協議結果のまとめ
- ・区長への報告

(2) グループ協議③の進め方 (案)

第5回区民会議では、前回会議グループ協議②で設定した交流の場の課題解決の追加と、主体別の取組みについて、意見を出し合うことにします。その協議について、グループ協議③を想定していますが、その流れ、および協議ボード③のイメージは以下の通りです。


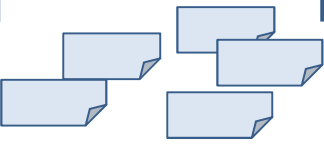




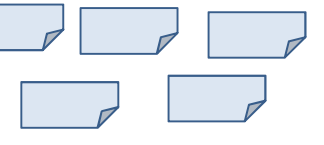



■第5回会議グループ協議③の流れ (目安)

| ステップ | 協議内容   | 時間配分 |
|------|--|------|
| I    | <b>前回会議の振り返り・確認</b><br>・進行係、まとめ係、発表係を話し合っ決定します。(前回同様も可)<br>・前回会議の振り返りと今回協議の課題についてグループ内で確認・共有します。<br>・協議ボード③に具体的交流の場を記載します。                 | 5分   |
| II   | <b>意見発表1：課題に対応した方策アイデアの追加</b><br>・まず、前回会議で話し合われ、設定した交流の場ごとの課題と方策について意見交換し、方策アイデアを追加します。追加方策についてメンバーそれぞれが意見を付箋に書き出し、協議ボード③に貼ります。            | 20分  |
| III  | <b>意見発表2：交流の場ごとの主体別取組について検討</b><br>・交流の場ごとの主体別取組について、メンバーそれぞれが意見を付箋に書き出します。(1枚の付箋に1つの意見を記入)<br>・次に、各自付箋に書いた意見を他メンバーに対して発表しながら、協議ボード③に貼ります。 | 40分  |
| IV   | <b>協議ボードの整理・まとめ</b><br>・まとめ係が話し合いをしながら、発表を意識し、協議ボード③を見やすく整理します。  | 10分  |
| V    | <b>発表 (1グループ3分程度)</b><br>・発表係が、グループごとにまとめた結果を、全体に対して発表します。   | 10分  |

(計90分：休憩5分含む)

■協議ボード③ (模造紙) 交流の場ごとの主体別取組みを検討する

グループ名：○○○

| I. 具体的交流の場           | II. 課題に対応した方策アイデア追加  | III. 主体別の取組み  |
|----------------------|--|---|
| 交流の場 1<br>●<br>----- | 課題① <br>課題②  | ①区民・活動団体の取組み<br><br>②民間団体・関係機関等の取組み<br><br>③市・区 of 取組み<br> |
| 交流の場 2<br>●<br>----- | 課題① <br>課題②  | ①区民・活動団体の取組み<br><br>②民間団体・関係機関等の取組み<br><br>③市・区 of 取組み<br> |



## 第4回区民会議グループ協議②の整理（案）

### 1. Aグループ（課題解決型の交流の場）

#### <発表内容>

誰もが関心のある身近な問題は、「災害」と「必ず訪れる死～健康」であり、交流の場として防災訓練と健康づくりの場を取り上げている。

#### 交流の場1. SSNが主導する防災訓練

##### ●課題1：既存の防災訓練にSSNをどう絡ませるか

- ・SSNは、学校長、自治会が主導してやっているの、学校長・自治会にお願いして集客をしていく。
- ・SSNを絡めると小学生・中学生が参加し、小学生には保護者、PTAがつき、中学生は次世代を担う人材であり、中学生を引き込みことは重要である。

##### ●課題2：団体を集めるコーディネーターが必要（地域、自治会）

- ・様々な組織リーダーをどのように集めて、どのようにコーディネートして、どのように浸透させていくのか、が問題となる。
- ・社協と自主防との関係があまり良くないので、このコーディネーター機能が必要である。

#### 交流の場2. 文化センターや公民館を活用した健康づくりの場

##### ●課題1：テーマによって対象施設（場所）を選択

- ・各世代に密接な健康づくりテーマは多様になる。そのために、テーマによって集客対象も、開催場所も違ってくるし、実施体制も異なってくる。
- ・各世代の健康に密接なテーマに応じたパネルディスカッションの開催を重ねて、健康づくりへの関心を高め、定期的な健康講座の開催などで通じて実践活動への参加を高める。

##### ●課題2：誰が集客するか（PR・集客方法）

- ・既に、100歳体操、ラジオ体操、高齢者体操、ヨガ、ズンバなどいろいろな健康づくりをやっており、これらの参加者を通じたPRができる。
- ・集客の方法としては、回覧板やSNSなども活用する。女性は井戸端会議的な情報伝達もできるが、男性はなかなか一歩踏み出せないの、隣近所での口コミが必要である。
- ・様々な情報は、広報などに必ず掲載しているのだが、関心のある人には伝わるが、関心のない人には伝わらないのが常である。民生委員、幼少年部など高齢者や子供たちの実態を良く知っている人達に協力してもらうこと、地域包括支援センターなどの相談機能を通じた情報提供が重要である。
- ・いずれにしても、結びつけていく機能であるコーディネーターの役割が誠に大きく、参加するか、参加しないかについてもコーディネート力が課題であると考えられる。

<協議内容の整理と第5回会議の協議課題案>

| 具体的交流の場                                  | 課題の整理と方策アイデアの追加   | 第5回協議課題案  |
|--|---|---|
| <p>交流の場1：<br/>SSNが主導する防災訓練</p>           | <p>①既存の防災訓練にSSNをどう絡ませるか・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の防災訓練にSSNが参加、協力する</li> <li>・学校長・自治会にお願いして集客をしていく</li> <li>・SSNを絡めると小学生・中学生が参加する<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②団体を集めるコーディネーターが必要・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協と自主防をつなぐコーディネーター機能</li> <li>・自治会・学校長がコーディネーターになり、集客を図る<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>  | <p>①区民・活動団体の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②民間団体・関係機関・事業者等の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>③さいたま市・南区の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> |
| <p>交流の場2：<br/>文化センターや公民館を活用した健康づくりの場</p> | <p>①テーマによって対象施設（場所）を選択・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各世代の健康に密接なテーマに応じたパネルディスカッションの開催（関心度を高める）</li> <li>・定期的な健康講座の開催（実践活動への参加を高める）<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②誰が集客するか（PR・集客方法）・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の健康づくりの場（100歳体操、ラジオ体操、高齢者体操等）の参加者を通じたPR</li> <li>・集客の方法は回覧板やSNSなどを活用</li> <li>・男性の集客は隣近所での口コミ</li> <li>・民生委員、幼少年部など高齢者や子供たちの実態を知る人達に協力依頼</li> <li>・地域包括支援センターなどの相談機能を通じた情報提供<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> | <p>①区民・活動団体の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②民間団体・関係機関・事業者等の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>③さいたま市・南区の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> |

## 2. Bグループ（イベント型の交流の場）

### <発表内容>

前回の協議では、3つの交流の場と共通する課題を考えたが、課題解決の方策を検討する上で、まず、新規イベントの開催と既存イベントの活用の2つに分けて方策を考えていくことにした。また、前回設定した3つの交流の場についても再整理する必要が生じた。

### 交流の場1～3. 新規イベントの開催+既存イベントを活用した交流の場

#### ●課題1：<新規の場合>場所の選定、どこでやるか

- ・誰が主体となってやるかで、場が決まってくる
- ・自治会、自治会連合会を巻き込んでいく場合、各自治会で身近な適当な場が出てくる
- ・例えば、辻2丁目自治会では、全農寮の空き地が近くにあり、活用できないかと思いつく。他、ロッテとか、カヤバとか多くの工場もあり、これらの協力も考えられるのではないか。
- ・身近なちょっとした空き地や公会堂の庭なども利用して、ヒマワリを植栽し、ヒマワリコンテストをする

#### ●課題2：<新規・既存共通>誰が主体となって誰を巻き込むか

- ・自治会、自治会連合会、社協、子ども会、育成会などが考えられる。
- ・例えば、社協には、自治会幹部が加わっており、社協が主体となって自治会が協賛するとか、社協と自治会はリンクしている。

#### ●課題3：<新規・既存共通>PR、情報提供の仕方は

- ・自治会の回覧とか、掲示板とかの利用が基本になる。
- ・SNS活用の意見もあったが、なかなか難しいところがある。
- ・子ども達を巻き込む場合には、若い親御さんが一般的に利用しているSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用が効果的になる。

#### ●課題4：<新規・既存共通>予算はどうするのか

- ・自治会の協力が得られるところであれば、自治会が予算化することが可能である。
- ・会費制（例えば、百円でお菓子を提供するなど）にして、住民に身近な、余り予算のかからないイベントが可能である。
- ・大きな予算がかかる場合は、行政にお願い協力を得ることもありえる。
- ・既存イベントを活用した交流の場については、既存のイベントとして、西南さくら祭り、ふるさとふれあいフェアが思いつくが、交流の観点がやや希薄であり、区民会議として新たな交流の場を加えられないか、ということ考えた。
- ・健康づくりイベントの開催については、新規イベント開催、既存イベント活用のどちらにも関連し、ウォークラリー、グランドゴルフ、卓球大会とかのいろいろなイベントが考えられる。市には、ウォークラリー協会、グランドゴルフ協会とかの各分野団体があり、これらの協力を仰いでいくことが有効である。



<協議内容の整理と第5回会議の協議課題案>

| 具体的交流の場   | 課題の整理と方策アイデアの追加   | 第5回協議課題案  |
|---|---|---|
| <p>交流の場1～3：<br/>新規イベントの開催＋<br/>既存イベントを活用し<br/>た交流の場</p> | <p>①&lt;新規&gt;場所の選定、どこでやるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が主体となってやるかで、場が決まってくる。</li> <li>・自治会、自治会連合会を巻き込んでいく場合、各自治会で身近な適当な場が出てくる</li> <li>・例えば、辻2丁目自治会では、全農寮の空き地が近くにあり、活用できないかと思いつく。</li> <li>・ロッテとか、カヤバとか多くの工場もあり、これらの協力も考えられるのではないかと。</li> <li>・身近なちょっとした空き地や公会堂の庭なども利用して、ヒマワリを植栽し、ヒマワリコンテストをする。</li> </ul> <p>(追加提案)</p> <p>②&lt;共通&gt;誰が主体となって誰を巻き込むか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、自治会連合会、社協、子ども会、育成会などが考えられる。</li> <li>・例えば、社協には、自治会幹部が加わっており、社協が主体となって自治会が協賛するとか、社協と自治会はリンクしている。</li> </ul> <p>(追加提案)</p> <p>③&lt;共通&gt;PR、情報提供の仕方は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の回覧とか、掲示板とかの利用が基本になる。</li> <li>・SNS活用の意見もあったが、なかなか難しいところがある。</li> <li>・子ども達を巻き込む場合には、若い親御さんが一般的に利用しているSNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）の活用が効果的になる。</li> </ul> <p>(追加提案)</p> <p>④&lt;共通&gt;予算はどうするのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の協力が得られるところであれば、自治会が予算化することが可能である。</li> <li>・会費制（例えば、百円でお菓子を提供するなど）にして、住民に身近な、余り予算のかからないイベントが可能である。</li> <li>・大きな予算がかかる場合は、行政にお願い協力を得ることもありえる。</li> <li>・既存イベントを活用した交流の場については、既存のイベントとして、西南さくら祭り、ふるさとふれあいフェアが思いつくが、交流の観点がやや希薄であり、区民会議として新たな交流の場を加えられないか、ということ考えた。</li> </ul> <p>(追加提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりイベントの開催については、新規イベント開催、既存イベント活用のどちらにも関連し、ウォークラリー、グランドゴルフ、卓球大会とかのいろいろなイベントが考えられる。市には、ウォークラリー協会、グランドゴルフ協会とかの各分野団体があり、これらの協力を仰いでいくことが有効である。</li> </ul> <p>(追加提案)</p> | <p>①区民・活動団体の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②民間団体・関係機関・事業者等の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>③さいたま市・南区の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> |

### 3. Cグループ（定期・常設型の交流の場）

#### <発表内容>

前回の協議からの課題は、

- 施設管理者が納得できる借用方法 ～場所の確保をどうするのか、コストもかかる
- 常設・既設の組織・団体との関係づくり ～団体同士の交流をスムーズに行うためにどうすべきか、排他的な団体もある
- 団体間の交流のはかり方 ～団体間の交流を促進していくためのノウハウ、ソフトの問題をどうすべきか

以上の3つである。

#### 交流の場 1. 定期・常設型の交流の場

- 課題1：施設管理者が納得できる借用方法 ～場所の確保をどうするのか、コストもかかる**
  - ・場所については、コミュニティ・カフェが数多くあり、地域の交流のために作られているものであり、〇〇カフェや〇〇サロンとか常設のものがある。これをうまく活用して交流の場にしていく。そのために、どんなことをやるべきか、は次の段階で考える。
  - (追加検討)
  - ・
  - ・
  - ・
- 課題2：常設・既設の組織・団体との関係づくり ～団体同士の交流をスムーズに行うためにどうすべきか、排他的な団体もある**
  - ・団体同士の柔軟な交流のためには、コーディネート力というキーワードがいつも出てくる。行政と民間、市民団体同士をうまくつなぐコーディネート力を上げていく必要がある。
  - ・さいたま市には、市民活動サポートセンターというお手本があり、ノウハウを築いて来たシステムがある。これを南区に根付かせること（市民活動サポートセンターの南区版）によって、コーディネート力の向上は図られる。市民団体の運営能力を高めることは、市民団体そのもののリーダーの育成にもつながる。
  - ・コーディネート力においても一つ出てきたのがSSNである。それぞれの学校では頑張っている、隣の学校でやっていることをお手本にしようとかという柔軟性に欠けている。
- 課題3：団体間の交流のはかり方 ～団体間の交流を促進していくためのノウハウ、ソフトの問題をどうすべきか**
  - ・団体の交流を促進し、具体的なコーディネート力を高めるためにも、個々のSSN相互をつなぐSSNのネットワークを作ろう。一つ一つのSSNがお互いの知恵を出し合い、ネットワークされることによって、結果的に1つひとつのSSNが活性化していくのではないか。
  - ・団体同士の柔軟な交流を考える時に、市民のサークルと市民活動団体はどう違うのか、もクリアしていく必要がある。
  - ・南区にはロッテという力を持つ企業があり、いろんなイベントや協賛事業もやっているが、もっと地域に開かれていくように働きかけていく必要がある。

<協議内容の整理と第5回会議の協議課題案>

| 具体的交流の場                       | 課題の整理と方策アイデアの追加   | 第5回協議課題案  |
|-------------------------------|---|---|
| <p>交流の場1：<br/>定期・常設型の交流の場</p> | <p>①施設管理者が納得できる借用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇カフェや〇〇サロンといった既存常設の場を活用して交流の場とする</li> <li>・そのためには、・・・<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②常設・既設の組織・団体との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体同士の柔軟な交流のためには、行政と民間、市民団体同士をうまくつなぐコーディネート力を上げていく必要がある。</li> <li>・さいたま市には、市民活動サポートセンターというお手本があり、これを南区に根付かせる(市民活動サポートセンターの南区版)。</li> <li>・市民団体の運営能力を高め、市民団体そのもののリーダー育成をはかる。<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>③団体間の交流のはかり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の交流を促進し、具体的なコーディネート力を高めるためにも、SSN相互をつなぐSSNのネットワークをつくる。</li> <li>・団体同士の柔軟な交流を考える時に、市民のサークルと市民活動団体はどう違うのか、もクリアしていく。</li> <li>・南区にはロッテという力を持つ企業があり、いろいろなイベントや協賛事業もやっているが、もっと地域に開かれていくように働きかけていく。<br/>(追加提案)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> | <p>①区民・活動団体の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>②民間団体・関係機関・事業者等の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>③さいたま市・南区の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> |